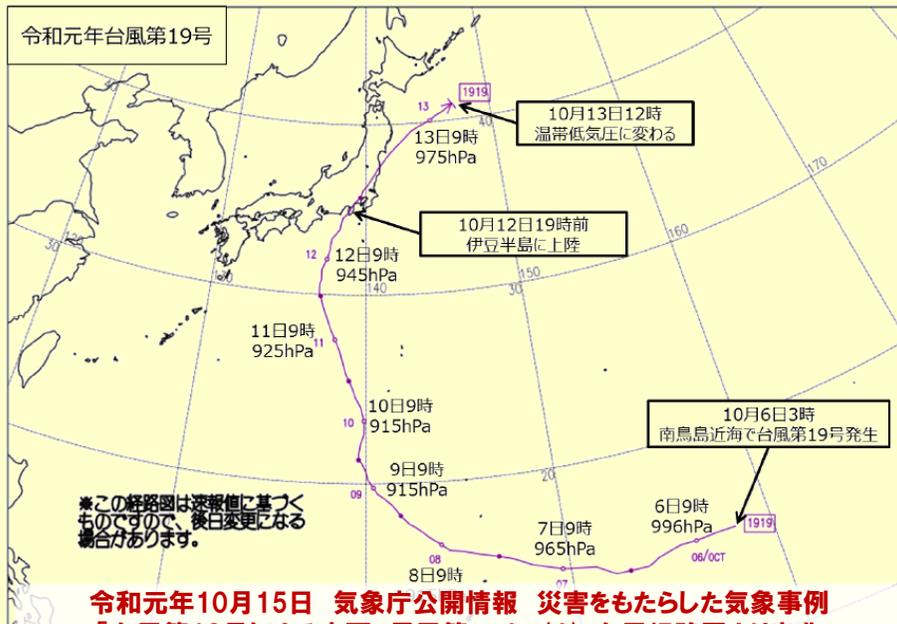


## 1 災害の特徴

台風19号は、大型で非常に強い勢力を維持したまま日本に接近/上陸しました。

本災害は、**激甚災害**に指定されたほか、13都県に**警戒レベル5**(災害発生情報)が発令され、更に台風としては初となる**特定非常災害**に認定されました。また、災害救助法の適用地域は13都県の300超の市区町村となっており、非常に甚大な被害をもたらしました。



## 2 通信設備被害と復旧対応

台風上陸に備え、10月11日に社内で警戒態勢を確立。記録的な暴風雨影響に加え、河川の氾濫による停電の長期化や設備の水没等により91市町村にエリア影響が発生しました。

これを受け、**全国のドコモグループが一丸となり**設備復旧を行いました。



### 【参考】台風19号に伴う復旧支援活動体制

- 設備復旧、避難所などへのお客様支援体制 : 約2,000名/日
- 停電、伝送路故障などへの災害対策機器の活用 : 200台以上

## 3 避難所等お客様支援

ドコモは、お客様にトータルで通信を提供し、安心安全をお届けするために、設備の復旧以外にも、様々なお客様支援活動を行っています。

### 【各種支援内容】

- 避難所への通信確保手段の支援  
(マルチチャージャ/docomo Wi-Fiの設置)
- 復旧エリアマップの公開
- ドコモショップ等での無料充電サービス提供
- 災害救助法適応に伴う各種支援  
(データ通信速度制限解除 等)
- 客訪日外国人支援SMSの発信
- 災害時フリーWi-Fi「00000JAPAN」の開設
- 被災地支援募金 等



避難所支援の様子  
(マルチチャージャの設置)



復旧エリアマップの公開



各種支援の特設ページ公開 (公式HPトップ)

## 4 関係機関との連携 / 支援

災害発生時は、様々な関係機関との連携が必要不可欠です。ドコモは「災害時指定公共機関」として、災害現場で活躍する関係機関の皆様を支援 (通信手段を提供) しています。

### 【今回の災害対応で貸し出しを行った物品】

|                      |  |         |
|----------------------|--|---------|
| 衛星携帯電話<br>(ワイドスターII) |  | 約350台   |
| 携帯電話<br>スマートフォン      |  | 約1,300台 |
| タブレット                |  | 約150台   |
| Wi-Fiルータ<br>(データ端末)  |  | 約100台   |

・主な貸出先 : 各自治体、各省庁(自衛隊)、指定公共機関、福祉協議会 等

また、ドコモは要請に応じて国や自治体にリエゾンを派遣し、通信の復旧状況などを共有することで、関係機関がより効率的に災害対応活動を行えるよう情報共有を行っています。